

施策評価シート

評価年度	平成25年度	事業実施年度	平成24年度	施策主管次長名	政策推進部次長 藤根 金光	
施策番号	73	施策名	健全で安定した財政運営の推進		総合計画掲載頁	174
関係課名	財政課、税務課、納税課					

1. 施策の概要

施策の目的	対象	市財政	対象指標名	単位	H23実績	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
			① 歳入決算額(普通会計)	千円	24,761,348	23,557,498	20,216,279	22,274,100	22,014,620	22,234,766
			② 歳出決算額(普通会計)	千円	22,804,458	21,940,858	20,216,279	22,274,100	22,014,620	22,234,766
	③ 地方債残額(一般会計)	千円	13,182,104	12,119,751	11,092,345	11,075,155	11,004,292	10,450,962		
意図	・効率的、効果的な予算配分を行う ・税の適正、確実な確保				成果指標名	① 経常収支比率				
					② 自主財源比率					
					③ 実質公債費比率(3か年平均)					
					④ 税収納率					

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
	経常収支比率	%	87.2	88.4	88.3	85.9	83.0	80.0	77.0
①	指標設定の考え方と把握方法	財政構造の弾力性を表す指標で、毎年決算数値から算定する。							
指標	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
	自主財源比率	%	81.4	83.5	83.9	81.2	78.4	78.7	80.7
②	指標設定の考え方と把握方法	市の行政運営の自主性を判断する指標で、毎年決算数値から算出する。							
指標	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
	実質公債費比率(3か年平均)	%	4.5	4.1	3.6	3.8	3.9	4.2	4.7
③	指標設定の考え方と把握方法	公債費は、将来必ず負担しなければならない義務的経費であり、財政の硬直化を判断する指標で、毎年決算数値から算定する。							
指標	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
	税収納率	%	93.7	91.7	93.8	94.3	94.6	95.0	95.0
④	指標設定の考え方と把握方法	市の基幹的な自主財源である市税の収納率を指標とし、毎年決算において算定する。							

3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	納税義務を果たすとともに、住民個人、自治組織、ボランティア等の自助、共助により地域の課題で出来ることは地域自らが解決する。			
	行政	市民ニーズを的確に把握したうえで、効果的な事業を公平に効率的に実施する。			
達成度評価	近隣との比較	西三九市で比較すると、経常収支比率、実質公債比率とも中位の値を示している。また、税収納率はトップに位置する値である。(自主財源比率は公表なし)			
	過去3年間の実績との比較	経常収支比率が悪化していたが、平成23年度に10ポイント程度改善され、自主財源比率もやや回復傾向にある。また、実質公債費比率も低下しており、将来的に負担は軽減されている。			
現状と課題	◆経常収支比率は実績・計画値とも高い状況にあるため、今後抑制していく必要がある。				
今後の取り組みの方向性および次年度の取り組み	◆平成20年秋の世界同時不況にから市財政は大きな影響を受け、さらに一昨年(2011年)の東日本大震災、タイ大洪水により輸送関連企業の業績に大きなダメージがあったことにより、本市の税収は大きく減少し、歳入の増加は、まだまだ期待できない状況となっている。 ◆また、経常収支比率が高い状態が続いていることから経常経費の圧縮を行っていく必要がある。				
	(26年度の取り組み) ・行政評価、実施計画、予算編成を連動させた計画的な財政運営の継続 ・自主財源の確保(基金の計画的な積立)				
市民意識	重要度	高い	満足度	低い	平成24年度市民アンケート調査による